

2013年4月1日から2023年3月31日までに 消化器内科に入院されたIBDの方及びご家族の方へ

「IBD(炎症性腸疾患)患者の栄養評価と適切な栄養管理方法の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院 栄養部 管理栄養士 岡本和之
研究分担者 川崎医科大学 消化器内科学 准教授 松本啓志
川崎医科大学附属病院 栄養部 部長 遠藤陽子

1. 研究の概要

IBDの方は下痢や腹痛などの腹部症状を認めることも多く、活動期には腸管安静の為腸管が使用できず、静脈栄養管理となることも多いです。また、潰瘍部からの栄養の漏出もあり、より多くの栄養量が必要となる症例も認められます。今回、入院時の種々の栄養学的指標と栄養管理の関連性を検討し、本研究により、IBDの方に対して、評価する栄養指標及び効果的な栄養管理、栄養補給法について検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2013年4月1日から2023年3月31日までに消化器内科に入院したIBDの方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027年3月31日

3) 研究方法

2013年4月1日から2023年3月31日までに消化器内科に入院したIBDの方で、入院中の栄養指標と栄養管理の関連性について検討します。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、原疾患、合併症、臨床経過、血液検査データ、使用薬剤、身体計測等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院栄養部内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、そ

の他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 栄養部

氏名：岡本 和之

電話：086-462-1111 内線 22120（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1172

E-mail：eiyoun@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。